

# 山行報告書

日時	2025年2月21日～23日	天候	雪 最低気温-21℃(下山日 小屋前標高2220m)
山名	八ヶ岳連峰 硫黄岳、赤岳		
CL	S行	参加者	SL:ナン メンバー:ナカシ、よっしー、フジ
(移動日)	* 移動日一日目・2/20 17:00白木原駅前⇒途中泊SA(吉備SA) フジさんは別途公共交通機関にて赤岳鉱泉にて合流		
(コース)	* 2日目 途中泊SA 5:30⇒美濃戸口13:00着、八ヶ岳山荘駐車場13:30⇒赤岳鉱泉17:20		
(コース)	* 3日目 Aパーティ 赤岳鉱泉6:00⇒赤岩の頭7:30⇒硫黄岳8:11⇒赤岳鉱泉9:50		
(コース)	* 3日目 Bパーティ 赤岳鉱泉6:00⇒行者小屋7:00⇒文三郎尾根途中⇒赤岳鉱泉10:40		
(コース)	* 4日目 赤岳鉱泉7:45⇒美濃戸口9:30⇒八ヶ岳山荘駐車場10:35		
(移動日)	* 移動日5日目 ⇒途中泊SA(玖珂PA)⇒白木原		
(コメント)	<p>【CL S行】 一昨年初冬に赤岳を地蔵尾根からピストンした際、次は縦走したいなと思い赤岳鉱泉をベースに硫黄岳から赤岳の縦走を計画しました。事前のトレーニングを積雪期に 由布岳東尾根から御鉢巡り、阿蘇高岳仙酔尾根ピストン、英彦山南岳直登など都合をつけながら実施した結果、縦走は厳しいと判断したメンバーには申し訳なかったのですが、赤岳ピストンのみにしてもらい、当日は2パーティに別れて行動しました。</p> <p>ただ入山日と下山日は晴れ間が出て良かったのですが、肝心の登山日が雪+風(10mオーバー/秒)を受けて両パーティとも予定したコースを完走できず、撤退しました。</p> <p>ただ今年は積雪も多く冬山らしい天候を体験できてある意味良かったのではないかと思います。</p> <p>個人的に残念な点は、出発直前に比較的割安な地獄ゴーグルを見つけて持参したのはよかったのですが、装着のタイミングを失って性能を確認しなかった点です。</p> <p>来年も同時期に南八ヶ岳を計画し再訪したいと思います。</p> <p>【SL ナン】 夕日に染まり神々しい南八ヶ岳の稜線と手強そうな横岳の岩塊を仰ぎ見て静かに燃やした闘志は、低温(マイナス20度以下)×強風(毎秒10m以上か)×雪の強力タッグに阻まれ、打ち砕かれた。</p> <p>挑んだのは、赤岳鉱泉(小屋)を未明に出発し硫黄岳～横岳～赤岳を周回して小屋に戻るルート。樹林帯を抜けると山は牙をむき(はげさか)、ガスで視界も限られる。行程の6分の1ほどにあたる硫黄岳山頂手前で撤退した。</p> <p>このリーダー判断は適切だった。もし、あの悪天候下で突っ込んでいたら、次第に身も心も余裕を失い、横岳の核心部に至る前に引き返さざるを得なくなっていたら。事故につながっていたかもしれない。</p> <p>赤岳鉱泉は実にいい小屋だった。標高2200m超えなのに、食事メニューに分厚いステーキが出てくるのだから。堪能した。個室のヒーターが消えた部屋はペットボトルの水が氷るほど寒かったけれど。</p> <p>四季を通じて初めて足を運んだ八ヶ岳は、憧れの山域となった。「来年はルートを変更してまた登ろう」とメンバー同士、語りながら帰路に就いた。</p>		

【よっしー】昨年、初冬に初めてチャレンジした赤岳雪山は爆風で地蔵尾根手前にて撤退。いつか赤岳にリベンジしたいなと思っていたところ、昨年よりレベルアップした硫黄岳から赤岳への縦走という計画が！迷いながらも最後はCLからの「トレーニング山行しますので一緒に頑張らしましょう！」とお言葉に後押しされ、チャレンジしてみようと参加の手をあげました。結果はお天気に恵まれず、アイゼン破損というハプニングもあり赤岳には登頂できずでした。けれども悪天候だったからこそ体験できた雪山の厳しさや怖さで経験値は上がりました。晴れてたら登れただろうなあと悔しさもありましたが、その悔しさは仲間と分かち合い来年の目標へと繋がっていくと思います。

福岡からの往復2000kmは、今回も楽しい仲間達のおかげで疲れを感じることなく快適でした。いつも安全運転ありがとうございます。

これから先も何か大きな目標を立てて、それに向かって日々マイペースで頑張ることを続けていきたいなと思った山旅でした。

【ナカシ】初めての赤岳チャレンジ登山でしたが、雪と風が吹く中、尾根の分岐手前で撤退するか迷っていた時、ちょうど下山してきたお二方より稜線は爆風とお話を聞き、また、お二方の鼻半分が白くなっているのを目の当たりにして(初めは鼻水が凍っているのかと思いましたが、凍傷のようでした)、即撤退を決断しました。残念な結果になりましたが、人生初の-20℃と雪山登山の厳しさを体験でき、充実した登山でした。

話は変わりますが、小屋は素晴らしく、夕食ではステーキが出てきて感動しました。今回、計画から手配をいただいたSリーダー、一緒に行っていたメンバーの皆様に感謝です。ありがとうございました。

この経験を活かして、トレーニングに励み来年もチャレンジしたいと思います

【フジ】赤岳を登る前後日は晴天でしたが当日は雪又は風で登頂出来ませんでした。これも日頃の行いが悪いのかと諦めました。以前登頂した時はあまり苦に思わなかった文三郎尾根もこんなに急登だったのかと体力が落ちた事とトレーニング不足を実感しました。それと雪山はその時のコンディションにより難易度が大きく変わり登頂した時は低くて登らせてくれたのだと実感しました。今回は装備も含め反省点が多く次回は改善して登頂したいです。

**費用概算**

\* 交通費 自家用車組: 交通費 ¥ 33,000 + 赤岳鉱泉 ¥ 24,000 (一泊2食)

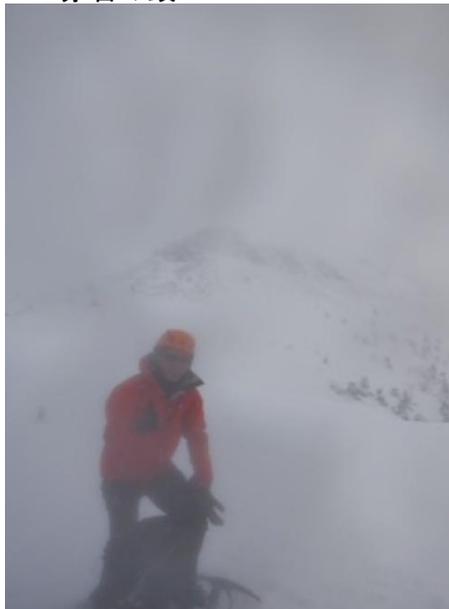
\* 入山日・下山日は天気が良かったのですが。。



\* 前祝は名物のステーキにて



\* 肝心の登山日は爆風と吹雪  
@赤岩の頭



\* 赤岩の頭直下ミニ雪庇



\* 雪は豊富でした



\* 2日目無事帰ってきて乾杯



\* 素敵な山小屋でした



\* 下山したら晴れ！

